

## 環境にやさしいゴーヤー栽培をすすめるふるさとづくり (平成24年度認定)



宮古地区では、ウリミバエ及びミカンコミバエの根絶によるウリ類等出荷規制解除や、平成12年度国営かんがい排水事業による地下ダム完成等により、これまでさとうきびや葉たばこが主体だった営農形態に変化が見られるようになった。ゴーヤーの県外出荷が可能となり、高単価・高収量品目として栽培する農家が増加した。平成14年に設立された本部会の総農家数・生産面積ともに増加しており、ゴーヤーの拠点産地として認定されている宮古島市において、本部会は大きな役割を果たしている。

本部会は、持続性のある生産を図るため土づくりの重要性を認識し、夏場はほ場を休ませ、次期作に向けて土づくりを実践している。また、単肥配合の手づくり液肥や硫黄粉剤の使用により、化学肥料及び化学合成農薬の使用量低減とコスト削減を実践し、環境にやさしいゴーヤー栽培を積極的に推進しており、第17回環境保全型農業推進コンクール奨励賞を受賞している。品質も非常に良く、平成23年度県野菜フェスティバル金賞・農林水産大臣賞も受賞している。

このように、環境にやさしいゴーヤー栽培により宮古島の農業振興に寄与している本部会は、【環境にやさしいゴーヤー栽培をすすめるふるさとづくり】に取り組んでいる。



ゴーヤーの現地検討会



ゴーヤーの現地検討会



ゴーヤーの日キャンペーン



土づくり講習会



環境保全型農業推進コンクール奨励賞



県野菜品評会(農林水産大臣賞)